

横浜・八景島シーパラダイス

50種100点、日本最多のウミウシだけの特別展！

海のカラフルモンスター ウミウシリウム

【開催中 ～ 11月6日（日）】

**宝石みたいに美しい！
カラフルで個性豊かなウミウシが勢ぞろい！！**

「海」、「島」、「生きもの」の魅力を楽しめる日本最大級的水族館『横浜・八景島シーパラダイス』では、宝石のように美しく輝き、カラフルな体色とオバケみたいなルックスを併せ持った「ウミウシ」にフィーチャーした特別展「海のカラフルモンスター ウミウシリウム」を11月6日（日）まで開催しております。

「海のカラフルモンスター ウミウシリウム」では、日本最多となる50種100点の「ウミウシ」を展示しています。

「ウミウシ」は季節によって海中で見られる種類が異なり、「ウミウシ」の種類で季節を感じ取ることができるほどと言われています。また、カラフルな体色とそのミステリアスな生態から、水中写真の被写体としてダイバーたちから人気のある生きものでもあります。そんな「ウミウシ」には、まだまだ私たちが知らない謎がたくさん隠されています。アーティスティックな空間演出の中で輝きを放つ「シンデレラウミウシ」などの色彩豊かな「ウミウシ」の魅力をご堪能ください！



お客様のお問い合わせ

『横浜・八景島シーパラダイス』
Tel 045-788-8888
<http://www.seaparadise.co.jp>

この資料に関する報道関係各位 お問い合わせ

『横浜・八景島シーパラダイス』
営業推進部(広報担当)
高城・富田・齊藤・後藤
Tel 045-788-9635
Fax 045-788-9735
e-mail kouhou@seaparadise.co.jp

◎「ウミウシ」って、どんな生きもの？

「ウミウシ」は、実は貝の仲間。その中でも貝殻が小さくて体の中に持つものや、貝殻そのものを持たないものを「ウミウシ」と呼ばれています。生きものたちは、ある特徴を基準にグループ分けをされていきます。例えば、私たちヒトは哺乳類として「哺乳綱」というグループに分けられているように。ウミウシたちは、巻貝の仲間として腹足綱（ふくそくこう）と呼ばれるグループに属しています。その



中の裸鰓目（らさいもく）、囊舌目（のうぜつもく）、背楯目（はいじゅんもく）、無楯目（むじゅんもく）、頭楯目（とうじゅんもく）という小さな5つのグループがウミウシの仲間「後鰓類」（こうさいるい）と呼ばれます。さらにウミウシたちは同じ種類でも、その色や模様個性があって、種類を見分けることがとても難しい生きものです。

◎諸説ある「ウミウシ」の名前の由来

「ウミウシ」は、漢字で「海牛」と表記します。その触角が牛のようで、ゆっくりと動くその動作がまるで牛のようだから…などなど、その由来には諸説あるようです。



◎「ウミウシ」の宝石のような美しさ

「ウミウシ」の魅力の一つ、それは、宝石のように美しく輝きを放つ、カラフルな体色。これには、理由が2つあると考えられているようです。

1つ目の理由は、敵に毒を持っていることや、食べてもおいしくないということをアピールするため。

2つ目の理由は、サンゴやヤギなどカラフルな他の生きものがある環境下で擬態し、カモフラージュするため。

小さな生きものが自然の環境下で生きていくために備わった産物が美しさの所以なのです。



◎「ウミウシ」のミステリアスな生態

「ウミウシ」の魅力はまだたくさんありますが、生息地域やどれくらいの種類が存在するのかなど、まだまだ私たちが知らないことも多い生きものです。「海のカラフルモンスター ウミウシリウム」では、例えば、「オスとメスがいるのか?」、「寿命」、「産卵の時期」など解明が進む「ウミウシ」のすべてをご紹介します。



◎色彩豊かな「ウミウシ」たち

「ウミウシ」には、さまざまな特性や形、体色や模様をもつ種類がいます。このバリエーションの多さが「ウミウシ」の一番の魅力です。「海のカラフルモンスター ウミウシリウム」では、50種類100点を集め、国内外より、選りすぐりの「ウミウシ」を集めてきました。美しい色彩のウミウシから、大きな口を持つ巨大なウミウシ、発光するウミウシなどといった、一度にこれだけのウミウシを見られるのは『横浜・八景島シーパラダイス』だけです。



「シンデレラウミウシ」
ピンクのドレスを着飾った美しいウミウシ。
その優雅な姿が名の由来かな！？



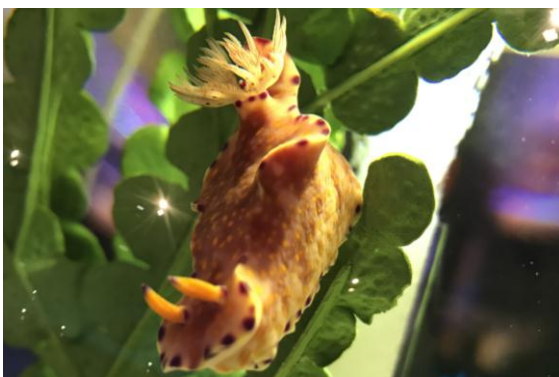
「ヤマトメリペ」
ウミウシ界では1番の大食漢。大きな口を開き、エビや小魚も丸飲み。



「ハナデンシャ」
強烈な発光をする珍種。体の突出した部位が青光りする。好物はクモヒトデ。



「メレンゲウミウシ」
白い体にヒラヒラした黄色のフチが
優美なウミウシ。



「ミナミニシキウミウシ」
ウミウシを好物とする厄介なウミウシ。
ターゲットの粘液を感知して襲う。



「アメフラシ」
刺激をすると紫色の煙幕を噴出し、
目くらまし。好物は海草。